

2012年5月21日の日食観察会の報告

サイエンスウィンドウ編集部に寄せられた各地での金環(部分)日食観察会の報告をご紹介します。

宇宙への興味・関心高まる 東京

(足立区立高野小学校 村上良法校長からのレポート)



5月21日は、足立区も晴れ間があり、本校の児童も金環日食を歓声とともに観察・観測することができました。
『Science Window』に同封いただいた太陽観察グラスも活用させていただきました。

6月6日、本校の開校記念日でしたが、4日の児童朝会で子ども達には金星の月面通過の話をして、観察グラスの再利用の話もしました。曇天のため子どもたちからは話が聞けませんでした。宇宙への興味・関心は高まってきました。



本校 宮田玲二教諭撮影

全校生徒や保護者とともに歓喜！ 奈良

(奈良市立興東中学校 西田敬子教諭からのレポート)



5月21日の金環日食には全国の人々とともに観察し、感動を覚えました！！

本校も準備万端！当日を迎え、全校生徒・保護者が多数、また、2009年の日食の感動を体験した卒業生も中学校へ集まり、歓喜の渦に浸りました。



興東中学校では、4月6日にサイエンスウインドウ春号を受け取り！意気揚揚と準備にかかりました。9日には職員会議で、年間計画に金環日食観察会を盛り込みました。そして、快晴の日を狙って、理科の授業で望遠鏡・ピンホールカメラ・空き箱やトレーでピンホールを作成しました。

また、2009年にサイエンスウインドウからいただいた日食メガネを活用し、事前に太陽の観察をしました。普通の太陽でも生徒は「わぁ見える！」と歓声を上げます。

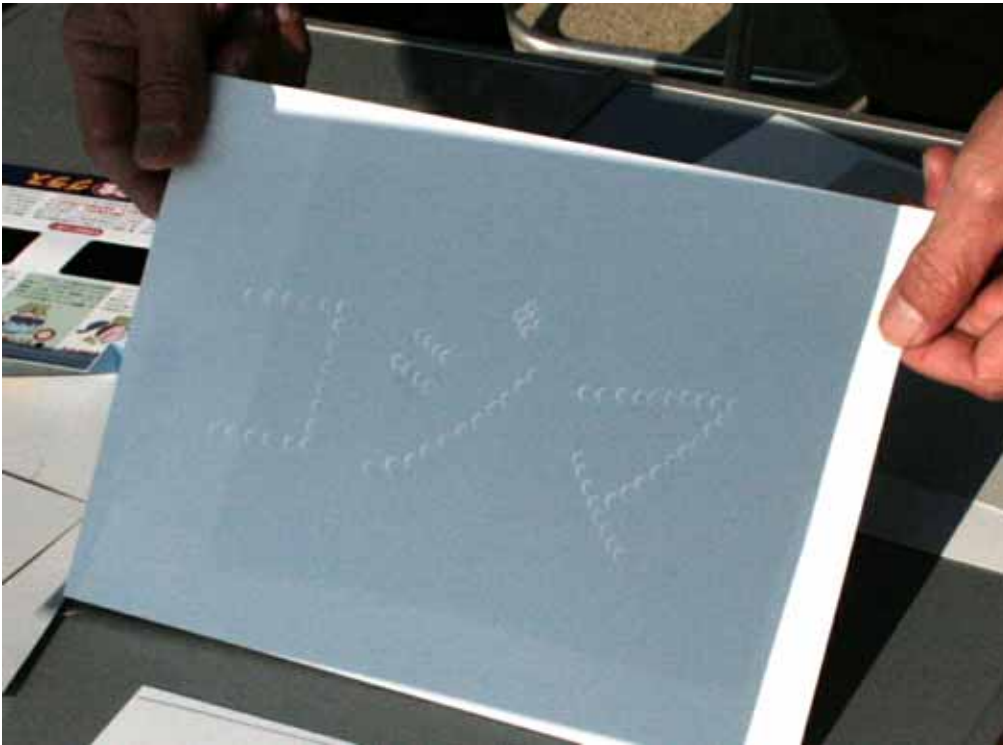
5月8日、生徒による金環日食のプレゼンテーション。15日には、全校生徒、職員で「日食を楽しもう」のDVD視聴！！みんな「ほー、なるほど...」納得。このDVDはとても分かりやすく、時間も適当で本当に役立ちました。

そして日食当日、朝5時から今か今かと準備をし、心に残る時間を過ごさせていただきました。木漏れ日、鏡による反射も望遠鏡に劣らずみんなで楽しみました。

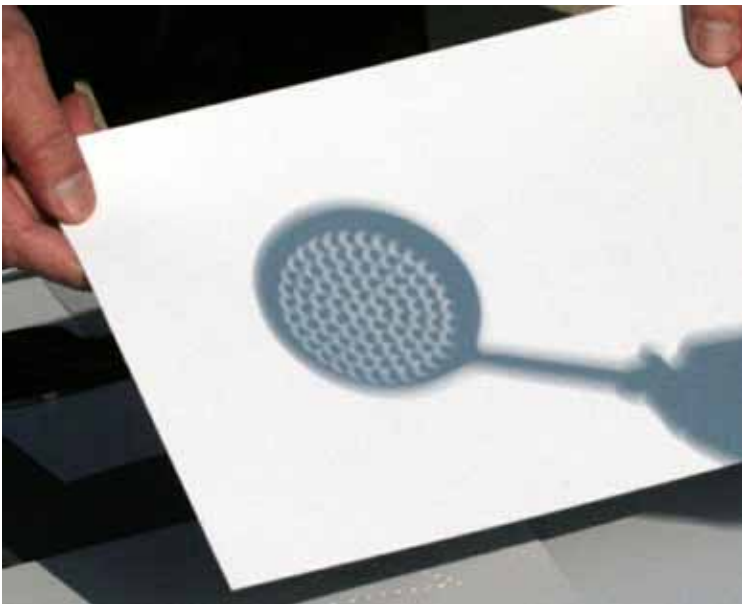


穴開きお玉や手作りのピンホールで! 岡山

(倉敷市立児島中学校 野稻幸男校長からのレポート)



本校では、倉敷科学センターから日食観察安全シート(NaRiKa製)の提供を受け、ボール紙は学校で用意して、職員に協力してもらい、全生徒分と全教職員分を作りました(1人3cm四方/約650枚)。また、倉敷科学センターの天文の先生にお願いし、全校生徒に日食の観察の仕方の講義をしていただきました。



日食当日は家庭か登校して観察するようにと指示をし、学校では7時から観察会をするので希望者は来るようにとの案内をしました。

当日、準備を始めた6時30分時点では雲がかかっていましたが、6時45分には雲が切れ、絶好の観察に適した天候になりました。また、7時30分前後には100人近くの生徒が集まり、観察ができました。送っていただいた日食観察めがねが好評で、ほかに、穴開きお玉やボール紙に穴を開けたものなども用意しました。

日食を初めて見た生徒も多く「ワー」とか「すごい」とか「不思議」とかの歓声が上がったことが嬉しいことでした。ピンホールを通った像や木漏れ日の像にも興味を示していました。

日食のピーク時には、少し周囲の明るさが減りました。気温は明らかに低下しました。これは観察していた全員が五感で感じ取ることができました。今はネットで画像はいろいろ見ることができますが、これだけは現場で観察しなければ体感できないことだと思いました。



薄曇りなか、夢が叶った 神奈川

(JST 理数学習支援センター 大森儀郎さんからのレポート)

横浜市栄区の第3大船パークタウン子ども会では、子どもたちの登校前の時間帯を利用して金環日食の観察会を開きました。太陽を見つめて目を痛めることのないように、事前に子どもたちを集めて安全な観察方法と金環日食が起きる仕組みを説明しました。工作用紙に、思い思いのデザインでピンホールをあけて、木漏れ日観察の準備もしました。予報では天気が心配されたことから、子ども会役員さんの指導で、てるてる坊主を作って当日の晴天を祈りました。



当日は早朝から小雨模様の天気でははらしましたが、てるてる坊主に託した子ども達の願いが通じたらしく、金環日食の時間帯が近づくにつれて雲が薄くなり、雲を通して見事な金環日食を観察することができました。雲で太陽の光が弱められたため、望遠鏡による太陽像の投影や木漏れ日の観察はできませんでしたが、代わりにビデオカメラの液晶モニターで太陽像を見てもらいました。太陽の前を次々に通り過ぎる薄雲の存在が日食の進行に思いがけない躍動感を与えてくれて、太陽が姿を現すたびに集まった子ども達や保護者の皆さんからは「わーっ、すごい！」と歓声が上がり大喜びでした。



金環日食が終了するころには再び雲が厚くなり、子ども達の登校時間も近づいたため、拍手のうちに観察会を終了しました。あいにくの天気でピンホールでの観察は、全部はできませんでしたが、薄雲を通して見たダイナミックな金環日食は、いつまでも子どもたちの心に残ることでしょう。



さまざまな方法で観察 岩手

(岩手大学教育学部附属中学校 坂本有希教諭からのレポート)



日食当日の盛岡の天気は晴れ。東の空には雲がなく、日食の観察に適した条件でした。6時30分に理科担当教員が日食グラス・天体望遠鏡を用意し、観察会の準備を整えました。6時30分から7時にかけて生徒が登校し始め、観察会を開始。

天気に恵まれ、さまざまな方法で日食を観察することができました。特に、日食グラスによる観察は、普段見ることのない太陽を見ることができ、生徒たちはとても感動していました。また、教職員の方が興奮している様子も見られました。



たくさんの生徒が感動 鳥取

(湯梨浜町立北浜中学校 前田浩志教諭からのレポート)

当日(5月21日)は、鳥取県は晴れでした。本校は日食観測会を7時20分～8時まで行いました。鳥取県での食の最大は91%で7時30分でした。その時は、太陽光線は弱まり、少し薄暗くなっていたようでした。

日食観察をして、たくさんの生徒が感動していました。

2009年に『Science Window』より送っていただいた日食めがねも活用しました。本校生徒の観測会の様子と、私が撮影したその時の部分日食の写真をお送りします。

